

令和2年度第2回江東エコライフ協議会会議録（書面開催）

1 書面開催日程 令和2年11月12日～令和2年11月25日

2 協議会委員

会 長	長谷川	猛（環境審議会副会長）
副会長	市川	英治（東京商工会議所江東支部副会長）
委 員	蛭名	明（区民委員・江東区立小学校PTA連合会）
	老沼	秀子（区民委員・江東区消費者団体連絡協議会代表）
	大石	美奈子（区民公募委員）
	有田	エミ（区民公募委員）
	柳澤	廣次（東京都江東産業連盟事務局長）
	石井	正彦（江東区商店街連合会副会長）
	星田	芳郎（一般社団法人東京都トラック協会深川支部副支部長）
	浅野	利幸（一般社団法人東京都トラック協会城東支部長）
	石川	香（東京電力パワーグリッド株式会社江東支社地域担当次長）
	小西	吾乗（東京ガス株式会社東京東支店広報担当課長）
	千明	和彦（株式会社LIXIL住宅研究所マーケティング推進部兼環境管理推進室係長）
	菅原	大嗣（武蔵野大学企画部企画広報課係長）
	山本	高嗣（株式会社フジクラコーポレートコミュニケーション部部長）
	横田	信博（東京都地球温暖化防止活動推進センター長）
	廣谷	孝之（江東区文化コミュニティ財団文化センター管理事務所次長）

3 議題

- (1) 江東エコライフ協議会の委員の変更について
- (2) 令和2年度におけるカーボンマイナスこどもアクションについて
- (3) 令和元年度「江東区の環境白書」
- (4) 報告事項について
 - ①江東エコライフ協議会委員の区政功労者表彰について（情報提供）
 - ②江東区役所屋上産はちみつの寄付について

4 配付資料

- 資料1 江東エコライフ協議会の委員の変更について
- 資料2 令和2年度におけるカーボンマイナスこどもアクションについて
- 資料3 令和元年度「江東区の環境白書」
- 資料4 江東エコライフ協議会委員の区政功労者表彰について（情報提供）
- 資料5 江東区役所屋上産はちみつの寄付について
- 別紙 Web会議に関するアンケート

5 書面開催の経緯

令和2年度第2回江東エコライフ協議会を令和2年11月5日（木）に実施する予定であったが、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止のため、会を設けての実施を取りやめ、書面での開催とした。

書面開催に際しては、配布資料を郵送にて送付し、議題について各委員に意見書の提出を求めた。

6 結果

（1）議題について

全会一致ですべての議題が了承されました。（別紙1）

（2）ご意見・ご質問について

4名の委員からご意見等がありました。（別紙2）

別紙 1

令和2年度第2回江東エコライフ協議会の議題とご意見等について

区 分	氏 名 (敬称略・順不同)	意見書の 提出	議題の 了承	ご意見
住 民 代 表 (4名)	蛭 名 明	○	了	
	老 沼 秀 子	○	了	○
	大 石 美 奈 子	○	了	○
	有 田 エ ミ	○	了	○
事 業 者 代 表 (10名)	副会長 市 川 英 治	○	了	
	柳 澤 廣 次	○	了	
	石 井 正 彦	○	了	
	星 田 芳 郎	○	了	
	浅 野 利 幸	○	了	
	石 川 香	○	了	
	小 西 吾 乘	○	了	
	千 明 和 彦	○	了	
	菅 原 大 嗣	○	了	
	山 本 高 嗣	○	了	
関 係 団 体 (3名)	会 長 長 谷 川 猛	○	了	
	横 田 信 博	○	了	○
	廣 谷 孝 之	○	了	

令和2年度第2回江東エコライフ協議会のご意見・ご質問（まとめ）

別紙2

委員名	ご意見・ご質問	事務局回答
老沼 委員	<p>江東消団連として、環境省の”レジ袋削減キャンペーン”に登録、消団連団体各団体にアンケート調査。10月に一ヶ月間実施し、調査内容を環境省に送付。将来2050年にはこのままいくと魚より海洋プラスチックの方が多くなり、魚が食せなくなる。今年、区民まつりが中止となりましたが、来年度は区民まつりで発表するつもりです。</p>	<p>江東区消費者団体連合の活動内容をお知らせいただき、ありがとうございます。区でもゴミの削減に向け5Rを推進しています。引き続きご協力をお願いいたします。（温暖化対策課）</p>
大石 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックの使い捨て容器が増えたので（買わないつもりでも）今までよりていねいに洗い、資源となるようにしている。 ・Web会議が増えており、交通に伴うCO2は削減できていると思う。 ・ぜひWebの会議をお願いします。 ・2050年、脱炭素宣言を区としても行ってください。「カーボンマイナスこどもアクション」に加えて「カーボンゼロ宣言」ですね。 	<p>Web会議については、オンラインと区役所への来庁との併用で進めていきたいと存じます。また区のCO2排出量の削減については、江東区環境基本計画にて2030年度までの削減目標値を設定し、区民・事業者・区が互いに連携しながら脱炭素社会に向けての取り組みを進めるとしています。国においては12月1日に成長戦略会議で「2050年カーボンニュートラルに向けたグリーン成長戦略」が示されました。都においても昨年12月に「ゼロエミッション東京戦略」が公表されており、区としては今後、他区の動向を注視しながら、対応を検討する考えです。（温暖化対策課）</p>
横田 委員	<ul style="list-style-type: none"> ○クール・ネット東京では、助成金事業や地球温暖化対策報告書制度についての説明会について、開催できない状況であるため、説明について動画による説明などに切り替えてホームページで公開し、周知活動を行っているところです。 ○今年度から開始した、自家消費プラン（蓄電池）の助成事業では、始めて電子申請も導入するなど、コロナ禍に対応した申請手法を取り入れており、今後は他の助成事業にも展開していく予定です。 	<p>都の施策についてお知らせいただき、ありがとうございます。動画による説明、電子申請などは参考にさせていただきたく存じます。引き続きよろしく願いいたします。（温暖化対策課）</p>
有田 委員	<p>このコロナ禍により、地球温暖化問題に対する関心が薄れつつあるように思います。今年度のカーボンマイナスこどもアクションは、環境問題を再認識するという意味でも、例年以上に意義のある取り組みだったのではないのでしょうか。表彰式を行えない等、今までどおりとはいかないと思いますが、これからも新しい生活様式に沿った形での実施を希望します。</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため小学校が臨時休校となる中、22校が参加し、総量約80 t（1人あたり25.1kg）のCO2削減を達成しました。詳細は第3回江東エコライフ協議会にて報告いたします。これからも新しい生活に対応した形式で、当事業を継続していきます。（温暖化対策課）</p>